

## 会 議 録

会 議 名	令和4年度東浦町学校給食センター運営委員会	
開 催 日 時	令和4年7月14日（木） 午後1時15分から午後2時10分まで	
開 催 場 所	東浦中学校 会議室	
出 席 者	委員等	岩尾由起男氏(委員長)、増田行泰氏（副委員長）、宮田昭久氏、和田友紀氏、今津直樹氏、高橋恵里氏、篠田昌裕氏、青山紗希氏、田川弘樹氏、加藤まさみ氏、梶山博史氏  ※出席委員 11名、欠席5名
	事務局	庄子教育長、畔上学校教育課課長兼学校給食センター所長、久米学校教育課課長補佐兼学校給食係長、中山栄養教諭、久野栄養教諭
議 題 等 (公開又は 非公開の別)	1 令和2年度東浦町学校給食センター運営実績について（公開） 2 令和3年度東浦町学校給食センター運営計画について（公開） 3 その他（公開）	
非公開の理由 (会議を非公開とした理由)	/	
傍 聴 者 の 数	0名	
審 議 内 容	<p>◆事務局 傍聴の確認を行い、委員の出席数を報告する。 次に教育長からあいさつ。 配布資料の確認し、各委員の自己紹介。</p> <p>◆委員長・副委員長選出 出席委員より、委員長は町PTA連絡協議会会長岩尾由起男氏に、副委員長は町校長会長増田行泰氏を推薦するとの発言があり、満場一致で承認。以降、議事進行は委員長が行う。</p> <p>◇委員長あいさつ</p> <p>◇委員長</p>	

委員の出席及び会議の成立を確認。

次第に従い議事を進める。議題1「令和3年度東浦町学校給食センター運営実績について」及び議題2「令和4年度東浦町学校給食センター運営計画について」を議題とし、事務局から説明を求める。

◆事務局

議題1について説明。

令和3年度は小学校・中学校ともに193回給食を実施した。

小中学校の児童生徒数は、小学校の児童数は2,841名、中学校の生徒数は1,380名でした。

卒業お祝い給食は、中学校3年生は、3月2日に牛乳、麦ご飯、揚げ魚(ホキ)のレモンソースかけ、海藻サラダ、米粉のお祝いケーキを提供した。小学校6年生は、3月17日にナン、牛乳、米粉キーマカレー、焼きウインナー、コールスローサラダ、米粉のお祝いケーキ、などを提供した。

デザートセレクトは12月14日に全学校、全学年を対象にお米のリンゴタルト・お米のガトーショコラのセレクトを実施した。

愛知県が実施した県産牛肉等・水産物学校給食提供推進事業において、東浦町へ無償提供された名古屋コーチンを1回提供した。

議題2について説明。

令和4年度から調理業務を3年間契約として締結を結ぶことにより、学校給食の効率化を図ることを目的として、給食センター調理業務、配送業務等を民間委託しました。

※主な質疑、応答は次のとおり

◇委員

委託に切り替わったことにより昨年度までの雇用されていた調理員はどうなったのか。

◆事務局

自己都合で若干名の退職があったが、残りの会計年度職員の調理員希望者は全て委託業者で雇用されております。

◇委員

給食費の値上げは今後どうなるか。

◆事務局

本年度に関しては給食費の値上げは行わない予定である。

◇委員

町として進めている、ご当地グルメを給食で提供する動きがあれば、わかる範囲で教えてほしい。

◆事務局

現在、商工振興課や健康課と打合せを行いながら共同で考えてご当地グルメとして給食用にアレンジをして3回ほど提供していく予定です。おからを使用した骨折予防プロジェクトの一環としてご汁を9月に、おじゃこころコロッケを11月に、うのはなご飯を1月にそれぞれ給食に取り入れる予定です。

質疑、応答が終了。

議題については原案のとおり承認と決定。

議事の終了を宣言する。会議が閉会。

■ 3 その他

(1) 学校給食センターアンケートについて

事務局から説明

(目的)

令和4年4月より、給食センターの調理は、これまでの直営から委託への切り替えをすることにより味の変化に子供たちが実際にどう感じているか確認する必要があると考え、アンケート調査を実施しました。

(回答結果)

期間としては令和4年6月20日から7月6日までの17日間です。

対象者は昨年との味の違いをどう感じているかの確認が一番重要なことから小学校2年生から中学校3年生(3,774名)に対してタブレット端末によりアンケート調査を行い、回答率は95.5%となりました。

アンケート結果については、3味についてどう感じていますか。【昨年と比べて】については、かわらない64%、おいしくなった25%、おいしくなくなった9%、昨年東浦にいなかったためわからない2%などの結果が得られた。詳細については、学校給食アンケートのとおりである。

この、アンケート結果については町ホームページなどで公表する予定です。

(2) 千種豊学校ひがしうら校舎への給食の提供について

令和5年4月より、東浦高校の敷地内に愛知県立千種聾学校のひがしうら校舎が開設予定である。規模は、幼稚部・小学部あわせて児童が20名程度、教職員30名程度として小規模な施設であることから、通常なら学校内に給食施設を建設し、自校方式で給食を考えるとところですが運営コストの課題となることから、東浦町に対して学校給食提供の依頼がありました。東浦町学校給食センターの施設規模5,600食/日に対して現在の調理食数はおよそ4,600食であることから、50食程度追加しても余裕はあり、配送予定等大きなロス時間もないことから、この依頼を引き受けることを予定しています。

(3)原油高騰など様々な要因による食材費の高騰から令和4年7月より、緊急かつ暫定的な対応として小中学校の給食賄材料購入費の価格上昇分に国が示した地方創生臨時交付金を活用し、保護者の皆さんに負担を転嫁することなく給食の質を維持していくよう、6月議会で食材購入費を10%増額する補正予算を上程し可決されました。

皆さんにご意見をいただきたいことがあります。この交付金は一時的措置であり、今後食材費の高騰が続いた場合により安価な食材を探しあくまでも給食費を維持していくのか、あるいは給食の質を維持するための給食費の改定(値上げ)を検討していくべきなのか、今すぐ結論を出さなければいけない状況ではありませんが、現時点での意見を伺いたい。

#### ◇委員

- ・給食の材料費は高騰しているから上げても構わない。
- ・安全な食材が優先だから値上げはしてもよい。
- ・値上げには反対ではないが、一気に上げるのはよくない。
- ・値幅を小刻みにするなど対応してみても

#### ◆事務局

貴重なご意見ありがとうございます。  
今後ともそれぞれの学校PTAや役員等に話を伺って頂ければ幸いです。